

本号は、炎症性腸疾患を背景として発生する大腸癌の臨床病理学的特徴、内視鏡診断、および治療に関する最新の知見を網羅する特集として企画された。本誌でも過去に複数回取り扱われてきたテーマではあるが、今回も周到に企画が練られ本邦におけるオピニオンリーダーの方々に執筆いただいた結果、大変充実した内容となったものと考えている。

本号に示されているように、通常の大腸腫瘍と同様に、潰瘍性大腸炎における腫瘍性病変の存在診断や質的診断においても画像強調内視鏡がきわめて重要な役割を担うことが明らかとなっている。さらに、2014年に報告された SCENIC international consensus statement を契機として、平坦な粘膜内病変に対する内視鏡治療の是非も世界的な話題となっている。すなわち、潰瘍性大腸炎においては、外科的全大腸切除術を前提とした盲目的生検によるサーベイランスの考え方から、詳細な観察に基づいた内視鏡治療の可能性を模索する時期に突入したといえよう。ただし、欧米の前向き試験で色素内視鏡検査の有用性は示されているものの、画像強調内視鏡に関しては一定の見解は得られていないのが現状である。慢性炎症を背景として発生する胃癌の内視鏡診断の現状を考慮すると、潰瘍性大腸炎においても画像強調内視鏡の圧倒的な有用性が推測される。今後、本邦からの臨床研究の成果が期待される場所である。一方、クローン病では、本邦でも直腸・肛門部癌の早期診断に向けた試みが開始されている。そのような状況において、本号は炎症性腸疾患に関連した腫瘍性病変の取り扱いにおけるコツを読者に示したものと確信している。熟読のうえ、ぜひ実際の臨床にお役立ていただきたい。

松本 主之

(岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野)

INTESTINE

Vol.22 No.1

©2018 年 1 月 20 日発行

定価(本体 2,850 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center Inc.

© 2018, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail : info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541